

各 位

平成 22 年 7 月 7 日  
株式会社ジーンテクノサイエンス  
代表取締役 河南 雅成

### 第三者割当増資の実施について

株式会社ジーンテクノサイエンスは、このたび、第三者割当増資により、ベンチャーキャピタル（VC）・事業会社などから合計 5 億 709 万円を調達いたしました。

今回の割当先は、既存株主である北海道ベンチャーキャピタル株式会社、大和 S M B C キャピタル株式会社、アント・キャピタル・パートナーズ株式会社、株式会社ジャフコ、株式会社札幌北洋リースの 5 社と、新たに大阪バイオファンドを運用する日本ベンチャーキャピタル株式会社、株式会社コラボ産学官の 2 社を加えた VC 7 社と、長瀬産業株式会社であります。

当社は、2001 年 3 月に北海道大学遺伝子病制御研究所の教授らのシーズを事業化することを目的に設立した大学発ベンチャー企業であります。また、前述のシーズには当社が育成し既に科研製薬株式会社にライセンスアウトした実績も出てきており、現在も、大学等から発掘・導入したシーズを育成し、医薬品シーズとして開発を行っており、また製薬企業とその他のシーズにおいても共同開発を行っております。

さらに、当社は新薬開発以外にバイオ後続品の開発に力を入れており、第 1 号として富士製薬株式会社と共同で好中球減少症治療薬である遺伝子組み換えヒト顆粒球コロニー刺激因子

(G-CSF) 製剤の開発を行っており、本製剤は国産バイオ後続品第 1 号を目標に進めております。

当社は今後も、製薬企業、各研究機関などとの連携を積極的に図りながら、新薬シーズの発掘と育成ならびにバイオ後続品の開発を 2 本柱にしていく方針であります。

バイオベンチャーを取り巻く昨今の厳しい環境の中、既存株主の皆様ならびに新規の投資家の皆様のご理解とご支援を賜り、無事、資金調達を行うことができましたことに感謝しております。

今回の調達資金は、引き続き自己免疫疾患及び癌などの難治性疾患領域での新規バイオ医薬品の研究開発および第 2 弾・第 3 弾のバイオ後続品の開発に充てる予定であります。今後も、社会に貢献し皆様のご期待に応えられるよう、役職員一同全力で取り組んでいく所存であります。

会社名	株式会社ジーンテクノサイエンス ( <a href="http://www.g-gts.com">http://www.g-gts.com</a> )
代表者	代表取締役 河南 雅成
本社	札幌市中央区北 2 条西 9 丁目 1 番地 TEL:011-876-9571 FAX:011-876-9572
事業内容	創薬・医薬品事業
会社設立	2001 年 3 月 1 日
資本金	604,075 千円

(本件に関する照会先：上野 TEL：011-876-9571 E-Mail:info@g-gts.com)